

人物同士の関係について話し合おう

風切るつばさ

単元目標：描写をもとに、人物同士の関係を捉えたうえで、心情の変化を読み取ることができる。

評価規準：新しい国語六 研究編 P138～ 「風切るつばさ」

	知・技	思・判・表	主体
	文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ	「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ	進んで人物同士の関係を捉え、学習の見通しをもって人物どうしの関係について考えたことを話し合おうとしている。

使用図書

- ・あらしのよるに
- ・アレクサンダとぜんまいねずみ
- ・ごんぎつね
- ・サーカスのライオン
- ・ないた赤おに
- ・ニャーゴ
- ・モチモチの木
- ・よめたよ、リトル先生

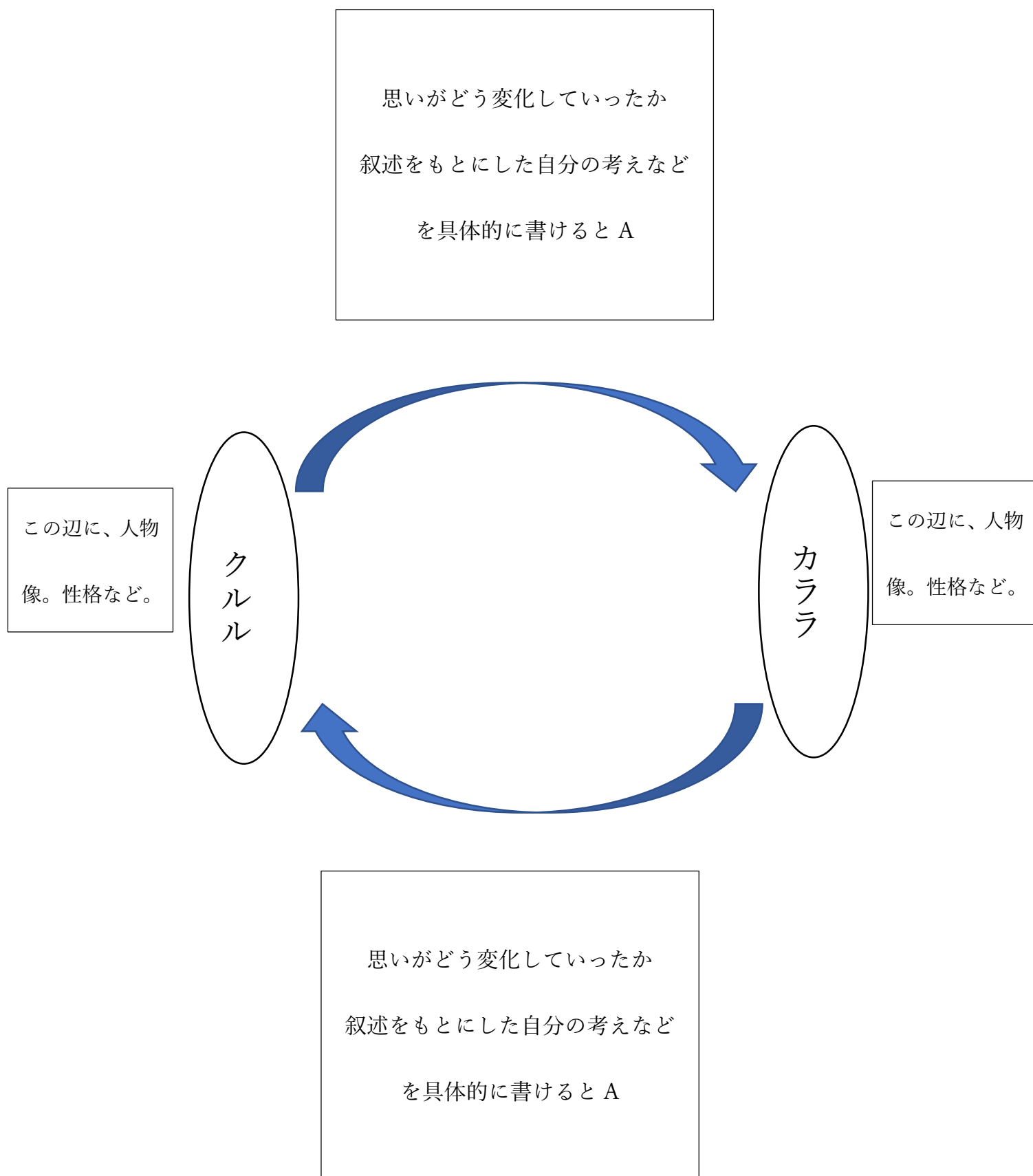
言語活動：物語を読み、人物どうしの関係について考えたことを伝え合う。

単元計画

	主な学習活動
1	・全文を範読し、登場人物や物語の展開について確かめる。 ・つけたい力を確認し、学習計画を確認する。 ・全文を通読しながら、クルルとカララの関係を人物関係図に表す。(個人)

2	・前時で作成した人物関係図に持ち寄り、クルルとカララの関係の変化について話し合いながら考えを深める。 ・話し合いをしながら、自分の人物関係図に書き加えていく。
3	・前時の話し合いをふりかえる。 ・「関係の変化がなぜ起こったのか」をテーマにグループで話し合いながら考えを深める。 ・話し合いながら、自分の人物関係図に書き加えていく。 ・話し合いをもとに、人物関係図を完成させる。
4	・並行読書材ごとに3～5人ほどのグループを作っておく。 ・グループで1枚の人物関係図を作成しながら「人物の関係」「関係の変化の理由」について話し合う。
5	・前時の話し合いをもとに、絵本紹介シート（人物関係図）を完成させる。※思考評価

人物関係図イメージ



・おすすめポイント 名前 (